

平成28年度 前期選抜の選抜・評価方法（予定）

学校番号 8

千葉県立検見川高等学校 全日制の課程 普通科

1 期待する生徒像

基本的な生活習慣が身に付いており、次のいずれかに当てはまる生徒

ア 学習成績が特に優れている。

イ 部活動、生徒会活動、地域等のスポーツ、文化活動、その他長期にわたる継続的な活動等で優れた実績を有し、入学後も積極的な活動を行う意志があり、学習成績が優れている。

2 選抜資料

(1) 学力検査	県下一斉に同一条件で行う5教科の学力検査
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 作文	検査時間50分、字数600字以内の作文

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。

(2) 調査書 イとエについては、数値（上限20点）で評価する。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	算式1で求めた数値で評価する。 ただし、3年間で評価1又は未評価がある場合は審議の対象とする。
イ 出欠の記録	3か年皆勤の場合は、数値で評価する。 3年間の欠席が合計30日を超える場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○の個数は、総合的に判定する際の参考資料とする。
エ 特別活動の記録 部活動の記録 特記事項 総合所見	次の(ア)及び(イ)について、それぞれ10点を上限に数値で評価する。 (ア) 部活動等の継続的な活動又は作品展等の短期的な活動における優れた成績 a 部活動等での県大会団体ベスト8以上の大会登録選手 b 部活動等での県大会個人ベスト16以上 c 作品展等での関東以上のレベルの入賞 (イ) リーダーシップ等の実績及び取得している検定 a 生徒会本部役員 b 部活動の部長 c 実用英語技能検定準2級以上 d 日本漢字能力検定準2級以上 その他に評価すべき点がある場合は、総合的に判定する際の参考資料とする。

(3) 作文 A・B・Cの3段階で総合的に評価する。評価がCの場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 字数	指定された字数に収まっているか。指定に対して少なすぎないか。
イ 内容	与えられた題に対応した内容であるか。
ウ その他	誤字や脱字がないか。作文用紙の使い方を守っているか。

#### 4 選抜方法

##### (1) 選抜の方法

本校の「期待する生徒像」に基づき、「学力検査の成績」、「調査書の得点」及び「作文の結果」等を総合的に判定して入学者の選抜を行う。

ア 「特別活動の記録等の評価点（20点）」で順位を付け、次の(ア)及び(イ)の両方を満たす者から、予定人員のおおむね3分の1まで入学許可候補者内定者とする。

(ア) 「学力検査の成績」で順位を付けたとき、予定人員の150パーセント以内にある。

(イ) 各選抜資料の内容等に特に問題となる点がない。

イ 予定人員の残りおおむね3分の2については、「学力検査の成績」と「算式1で求めた数値」の合計点で順位を付け、各選抜資料の内容等に特に問題のない者から、入学許可候補者内定者とする。

##### (2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはしない。

#### 5 その他

過年度卒業者については、作文終了後、個人面接を行う。